

登録コード	L1062100	開講年度	2026				
担当教員	美甘 信吾			副担当			
授業科目	政治学						
英文授業名	Politics						
授業タイトル							
単位数	2	対象学生		講義期間	前期	曜日・時限	月曜・3時限
講義室	経法第1講義室		遠隔授業科目		読替科目		
信大コンピテンシー	該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ						
	【2022年度以前加付対象】変容する社会を冷静に分析し、時流に迎合することなく価値判断できる批判力			・多岐にわたる民主政治の課題の基礎を理解し、説明できるようになる。 ・正確な基礎知識に基づいて政治課題（公共政策課題）の論点を整理し、説明できるようになる。			
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降加付対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			・多岐にわたる民主政治の課題の基礎を理解し、説明できるようになる。 ・正確な基礎知識に基づいて政治課題（公共政策課題）の論点を整理し、説明できるようになる。			
	【2023年度以降加付対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】			・多岐にわたる民主政治の課題の基礎を理解し、説明できるようになる。 ・正確な基礎知識に基づいて政治課題（公共政策課題）の論点を整理し、説明できるようになる。			
	【2023年度以降加付対象】専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。【開拓力・企画発想能力】			・多岐にわたる民主政治の課題の基礎を理解し、説明できるようになる。 ・正確な基礎知識に基づいて政治課題（公共政策課題）の論点を整理し、説明できるようになる。			
授業で学べる「テーマ」	地域運営、多文化協働						
全学横断特別教育プログラム	ローカル・イノベーター養成コース						
授業の概要	社会科学とは何か。政治学とはどのような特徴を持っているのか。まず、公共性・正義、民主主義、多文化主義・ナショナリズム、ジェンダーなど、政治学の基礎的な概念を解説する。次に、財政・社会保障・環境エネルギー・外交安全保障政策など重要な公共政策課題を理解するための基礎知識を整理する。						
授業計画	1 序：社会科学と政治学 2 公共性・正義 3 人権・民主主義・ガバナンス 4 多文化主義・ナショナリズム 5 ジェンダー 6 日本の政治制度 7 メディア・リテラシー 8 中間試験 9 財政政策 10 税と社会保障改革 11 少子高齢化対策 12 地方創生 13 エネルギー・環境政策 14 外交・安全保障政策 15 日本政治の課題（まとめ）、授業アンケート実施 * 講義の順番は入れ替わる可能性がある。						
成績評価の方法	中間試験（40パーセント）・期末試験（50パーセント）・レスポンスシート（小テストと提出課題等も含む）（10パーセント）によって評価する。中間試験と期末試験の出題は全て論述形式で行う。						
成績評価の基準	授業内容の最も基本的なことが理解できていることを論述試験・レスポンスシート（小テストと提出課題等も含む）で示せれば「その水準にある」（可）。授業内容の十分に理解し、基礎知識があることを示せれば「やや上にある」（良）。基礎資料や参考文献なども十分に学習したことを示せれば「かなり上にある」（優）。授業や基礎資料・参考文献の学習に基づき、自己の見解を説得力のある形で示せれば「卓越している」（秀）。						
事前事後学習の内容	授業に関する基礎資料・課題などは、E-Alps システムにアップロードするので、事前に学習して授業に参加すること。レスポンスシート・小テストを利用し、授業内容の理解を定期的に確認する。受講者数によっては、グループ・ディスカッションを取り入れ授業への参加を促す。小テスト・中間試験・期末試験の受験のためには十分な復習（事後学習）が必要。各講義の参考書をできる限り読むこと。						
履修上の注意	問題意識を持って新聞や雑誌を読み、ドキュメンタリー、インターネット・テレビニュースも注意して見て欲しい。主権者として「政治」に関わる意識を持つこと。講義の進め方・難易度等に関する受講者からの評価・感想は、歓迎する。受講者の関心を知るためにエントリーレポートを課す予定。						

質問、相談への対応	講義の後の休み時間を積極的に利用すること。講義の内容に関する質問は、定期的に行うレスポンスシートも利用するように。メールでの質問等も可能。個別に相談等がある場合は、まずメール等で連絡すること。
教科書	教科書は使用しない。
参考書	朝日新聞社 『日本政治の超基本』（2025年 朝日新聞社） 川出良枝・谷口将紀 編 『政治学』（2022年 東京大学出版会） 久米郁男 他 『政治学（補訂版）』（2011年 有斐閣） 苅部直 他 編 『政治学をつかむ』（2011年 有斐閣） 川崎修・杉田敦 編 『現代政治理論（新版補訂版）』（2023年 有斐閣アルマ） 砂原庸介 他 『政治学の第一歩』（2025年 有斐閣ストゥディア） バーナード・クリック 『現代政治学入門』（2003年 講談社学術文庫） その他、授業の際に紹介する。